

医療薬学研究室

Medical Pharmaceutics

教授 藤 秀人 Hideto To
准教授 辻 泰弘 Yasuhiro Tsuji
助教 岡崎 史泰 Fumiyasu Okazaki

◆ 著 書

- 1) 辻 泰弘. 薬学生・薬剤師レジデントのための感染症学・抗菌薬治療テキスト. 二木芳人監修. 東京:じほう;2015. リンコマイシン系薬の使い方; p. 351-4.
- 2) 辻 泰弘. 薬学生・薬剤師レジデントのための感染症学・抗菌薬治療テキスト. 二木芳人監修. 東京:じほう;2015. マクロライド系薬の使い方; p. 341-50.

◆ 原 著

- 1) 辻 泰弘, 太田幸雄, 笠井英史, 平木洋一, 山田尚広, 松永典子, 大石博史, 矢口武廣, 北原隆志, 内藤隆文, 藤 秀人. 日本人 MRSA およびグラム陽性菌感染症を対象としたジェネリック・テイコブラニンの多施設共同母集団薬物動態解析. TDM 研究. 2015 Dec; 32(4): 188-97.
- 2) Hiraki Y, Tsuji Y, Yasumori N, Nagano M, Kamimura H, Karube Y, Kawano F. Urinary pH may inhibit elevation of vancomycin serum concentration. Int J Clin Pharmacol Ther. 2015 Dec; 58(12): 987-96.
- 3) Tsuji Y, Iwanaga N, Mizoguchi A, Sonemoto E, Hiraki Y, Ota Y, Kasai H, Yukawa E, Ueki Y, To H. Population pharmacokinetic approach for low dose cyclosporine in patients with connective tissue diseases. Biol Pharm Bull. 2015 Sep; 38(9): 1265-71.
- 4) Inoue D, Yamada S, Nagano M, Yasumori N, Hiraki Y, Tsuji Y, Kamimura H, Karube Y. Amikacin and doripenem treatment of sepsis in a hemodialysis patient infected with extended spectrum β -lactamase-producing *Klebsiella pneumoniae*. Jpn J TDM. 2015 Jan; 32(1): 11-6.
- 5) Hiraki Y, Yasumori N, Nagano M, Inoue D, Tsuji Y, Kamimura H, Karube Y. Optimal loading regimen and achievement of trough concentration for teicoplanin using Japanese population parameters. Int J Antimicrob Agents. 2015 Jan; 45(1): 87-8.
- 6) Tsuji Y, Tashiro M, Ashizawa N, Ota Y, Obi H, Nagura S, Narukawa M, Fukahara K, Yoshimura N, To H, Yamamoto Y. Treatment of mediastinitis due to methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* in a renal dysfunction patient undergoing adjustments to the linezolid dose. Internal Medicine. 2015 Jan; 54(2): 235-9.

◆ 学会報告

- 1) 常友盛勝, 菅原隆文, 壁村嘉恵, 開 浩一, 辻 泰弘, 神村英利. ニューモシスチス肺炎に対するアトバコンの安全性評価. 第 25 回日本医療薬学会年会; 2015 Nov 21-23; 横浜.
- 2) 田中安紀, 五反田圭介, 家入一郎, 藤 秀人. 抗リウマチ薬メトトレキサートの治療成績の向上を目指した葉酸の至適併用タイミングの検討. 日本薬学会北陸支部第 127 例会; 2015 Nov 15; 富山.
- 3) 高瀬美幸, 瀬戸祥弘, 辻 泰弘, 藤 秀人. シスプラチン誘発アロディニアの軽減を目指したプレガバリンの併用投薬. 日本薬学会北陸支部第 127 例会; 2015 Nov 15; 富山.
- 4) 太田幸雄, 辻 泰弘, 笠井英史, 平木洋一, 山田尚広, 松永典子, 大石博史, 矢口武廣, 北原隆志, 内藤隆文, 藤 秀人. 個別化治療を目的とした後発医薬品テイコブラニンの母集団薬物動態解析. 日本薬学会北陸支部第 127 例会; 2015 Nov 15; 富山.
- 5) 東 祥嗣, 芦澤信之, 河合暦美, 鳴河宗聡, 辻 泰弘, 山本善裕. 血液透析患者におけるリネゾリド用量調節の臨床的検討. 第 6 回 MRSA フォーラム; 2015 Jul 11; 東京.
- 6) 西條 尚, 辻 泰弘, 芦澤信之, 鳴河宗聡, 山本善裕. 慢性腎不全モデル動物を用いたリネゾリド誘発血小板減少の検討. 第 63 回日本化学療法学会総会; 2015 Jun 5-6; 東京.
- 7) 山本善裕, 河合暦美, 芦澤信之, 鳴河宗聡, 辻 泰弘. 血液透析患者におけるダプトマイシン用量調節の臨床的検討. 第 63 回日本化学療法学会総会; 2015 Jun 5-6; 東京.
- 8) 芦澤信之, 河合暦美, 鳴河宗聡, 辻 泰弘, 山本善裕. 血液透析患者におけるリネゾリド用量調節の臨床的検討.

第 63 回日本化学療法学会総会 ; 2015 Jul 5-6 ; 東京.

- 9) 太田幸雄, 辻 泰弘, 笠井英史, 平木洋一, 山田尚広, 松永典子, 大石博史, 矢口武廣, 北原隆志, 内藤隆文, 藤 秀人. 多施設共同研究による後発テイコプラニン「日医工」の母集団薬物動態解析. 第 32 回日本 TDM 学会・学術大会 ; 2015 May 23-24 ; 松本.
- 10) 福森史郎, 辻 泰弘, 笠井英史, 太田幸雄, 浅野雅俊, 西條 尚, 芦澤信之, 鳴河宗聡, 山本善裕, 藤 秀人. ダプトマイシンの母集団薬物動態パラメータを用いた血中濃度の予測精度. 第 32 回日本 TDM 学会・学術大会 ; 2015 May 23-24 ; 松本.
- 11) 藤 秀人. CIA ラットを対象としたメトトレキサートの投薬スケジュールの違いによる抗リウマチ効果への影響. 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 ; 2015 Apr 23-25 ; 名古屋.

◆ その他

- 1) 福森史郎, 辻 泰弘. 抗菌活性から見た感染症治療薬の相互作用. 化学療法の領域. 2015 Oct ; 31(10) : 1988-94.
- 2) 藤 秀人. 生体リズムと時間治療～体内時計を利用した薬物療法～ 2015 県民カレッジ教養講座 講演 ; 2015 Aug 28 ; 富山.
- 3) 藤 秀人. 既成概念がくつがえるとき. 薬奨ニュース. 2015 Jul ; 21 : 9.
- 4) 辻 泰弘. TDM 初心者のためのハンズオンセミナー. 第 32 回日本 TDM 学会・学術大会 講演およびレクチャー ; 2015 May 23-24 ; 松本.
- 5) 辻 泰弘. 薬剤師が知っておきたい抗 MRSA 薬 5 剤に関する最新の TDM. 第 32 回日本 TDM 学会・学術大会 特別講演 ; 2015 May 23-24 ; 松本.
- 6) 辻 泰弘. わかりやすい薬物動態－エクセルで簡単シミュレーション－. 沖縄県 TDM 研究会 特別講演 ; 2015 May 15 ; 那覇.
- 7) 藤 秀人. 体内時計を利用した治療(時間治療)について～体内時計の異常による病気の発症から薬物治療まで～. 富山大学サテライト講座 講演 ; 2015 Feb 7 ; 富山.
- 8) 藤 秀人. 生体リズムと薬物療法. 砺波地区高等学校保健連絡協議会 講演 ; 2015 Jan 22 ; 富山.